

学習だより

第1号 新入生向け

令和2年4月9日発行

宇都宮市立姿川中学校学習指導部

文責 大島 信子

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。

今日から皆さんは、姿川中学校の生徒です。制服に袖を通し、中学生になった実感とともに期待と不安の入り混じった緊張感をもって、入学式に臨んだことでしょう。そんなときではありますが、新型コロナウイルス感染症対策のため、学校が4月22日（水）まで臨時休業となりました。



皆さんにとっては、小学校6年生の3月から学校が臨時休業に入り、卒業式も短縮した形での実施でした。3月に学習する予定だった各教科の内容はどうするのか、中学校の学習が始まったときに困ることはないだろうかと心配していた人もいるかと思います。小学校で学習する予定だったけれどまだ学習していない内容は、中学校の授業の中で学習しますので、安心してください。

では、今は、家でどんな学習をしたらよいのでしょうか。

まず、小学校6年生の2月までに学習した各教科の復習をしっかりとっておきましょう。これまでの学習の中で、苦手な部分の内容を克服しておく、中学校の授業がスムーズにスタートできます。また、今日は、中学校で使用する国語・社会・数学・理科・英語の教科書が配付されました。これからどんな学習をするのか、家に帰ったら、教科書の扉を開け、目次に目を通してみましょう。教科書を音読したり語句の意味調べをしたりするなどの予習をしておくのもよいことです。各教科から示された次の内容を、この休業の期間に学習しておきましょう。

【学校休業の期間に、家で学習しておく内容】

※5教科の学習プリントは4/9（木）に配付します。

教科	学 習 内 容 (次の①は学習プリントの内容です。)
国 語	① 小学校で習った漢字の練習プリントです。なぞり書きをしたあと、練習しましょう。また、読み方も確認しましょう。
社 会	① プリントを使って、47都道府県を覚えておきましょう。 ② 歴史の教科書P.2～4を見て、小学校で学んだ主な人物について、復習しておきましょう。
数 学	① プリントの復習問題を解きましょう。答え合わせもしておきましょう。 ② 小学校5、6年生のときのドリルなどをもう一度復習しましょう。 ③ 中学校の教科書「新しい数学」P.233～235をノートにやりましょう。
理 科	① プリントの復習問題を解きましょう。答え合わせもしておきましょう。 ② 小学校の4、5、6年生の内容をもう一度やり直しておきましょう。 ③ 小学校で学んだ基礎的な語句や内容をよく復習しておきましょう。
英 語	① アルファベット大文字、小文字をどちらも書けるようにしておきましょう。 ☆順番に書けるように、何度も自分でテストして覚えましょう。

☆前ページに示した学習プリント等の課題は、学校が再開されたら提出してください。また、これらの課題とは別に、この休業中に自主的に家庭学習に取り組んだノートや問題集などがあったら、次の登校日（4月23日の予定）に持ってきてください。積極的に頑張った成果や取組を、ぜひ見せてください。

◇読書をしよう！◇

Q：問題 次の（ア）、（イ）で成績が高いのは、どちらだと思いますか？

（ア） 1日勉強2時間以上で読書全くしない人

（イ） 1日勉強30分～2時間未満で読書10分～30分する人



A：答え （イ）

☆これは、DS「脳トレ」で有名な東北大学の川島隆太教授が研究チームを作って実証したものです。1日2時間以上も勉強している人が、それ以下しか勉強していない人より成績が悪いという実験結果が報告されています。衝撃的だったのは、たとえ2時間以上勉強しても、ほとんど勉強しないが読書はする人と同じ成績になってしまうということです。

それなら、勉強しなくても読書だけしていればよいのかということではありません。基礎・基本の定着のためには、くり返し練習することが必要です。また、ノートにまとめたり、覚えたりしただけでは、活用できる力にはなっていません。それらのことを使って、実際に問題を解くことを積み重ねることで、本当の実力となっていくものです。これらをしっかり行うためには、まとまった学習時間が必要不可欠です。

ただ、勉強しているのに平均以下の成績だとか成果が出ないという原因が読書不足にあること、読書が学力を左右しているという事実には、なかなか気づかないものです。勉強に加えて1日たった30分の読書を取り入れるだけで、偏差値が約3ポイントもアップする可能性があるというのですから、すぐにでも読書の習慣を身に付けたいものです。

（参考文献『「本の読み方」で学力は決まる』青春新書 川島隆太 監修）

学力を伸ばすためには、勉強の時間をしっかり確保すること、そして集中して取り組むことが大切です。小学校で積み重ねてきた家庭学習の習慣を、ぜひ、今後も継続してください。また、これまであまり家庭学習の時間を取れなかった人は、前ページの課題に毎日少しずつ取り組むことで、家庭学習の習慣を身に付けましょう。誰にでも平等に与えられている1日24時間を有効に使うためにも、日課表や学習計画表を作って、その実践に努めることが大切です。自分の生活を自分自身でしっかりコントロールしてください。

また、たくさん時間のある今、ぜひ読書の楽しさを味わってください。後々、学力向上と心の豊かさという素晴らしい読書効果を実感できることでしょう。

